

教科 【 国語 】

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1

板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組

【自力解決】

・「読むこと」「書くこと」において、自分の課題に合わせて解決方法を選択したり、調整したりすることができる時間を確保する。

【集団解決】

・「話すこと・聞くこと」において自分の考えが相手に正しく伝わっているか、よりよい表現はないかなどを、互いに確認できる時間を確保する。

【まとめ・振り返り】

・各単元の振り返りでは、めあてに立ち戻り、向上したことや学び方のよさなどを生徒が自覚できるよう、使用するキーワードや文字数、振り返る視点などを指定する。
・発表や小单元ごとに100～200字程度の文章での振り返りを行う。

視点2

読み解く力の育成

【自力解決】

・「言語・知識」の分野では、理解が十分ではない言葉は教科書や辞書などを使って調べさせ、既習事項や用語、図表などを根拠に考えさせる。

【集団解決】

・説明的文章の分野では「多くの考えを導き出す」際には同義か異義かを意識させて分類・整理させ、「新たな考えを創出する」際には既習事項を根拠に検討させる。

【まとめ・振り返り】

・感想文や作文では、自分で書いた文章を他の人の文章や教科書の文章などに見比べさせ、相手に分かりやすい文章に修正させる。

視点3

総合的な学習の時間との連携

・文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケートなどの「情報の集め方」を指導することで、自分の課題に合わせて選択できるようにする。

・著作権における正しい知識を理解させる。

【整理・分析】

・比較、分類、関連付けなどの「思考の方法」を指導することで、自分の課題に合わせて選択できるようにする。

・フローチャートなどのグラフを正しく読み取れるようにさせる。

【まとめ・表現】

・スピーチ、プレゼンテーション、ポスターセッションなどの「発表の方法」を指導することで、自分の課題に合わせて選択できるようにする。